

石見神楽人育成委員会



委員長
漆谷 久利

江津市には子どもから大人まで多くの人から愛される石見神楽があります。しかし、皆さんも御存知

の通り、現在の江津市は過疎化や少子高齢化などの問題により、次世代に伝えていくべき「子ども」が減少しています。また、石見神楽に興味のある層と無い層の二極化が進んでいるように感じます。石見神楽に無関心な層の増加は愛郷心を持つ人材の不足へと繋がりがねません。



石見神楽を未来につなげるため、(社)江津青年会議所も様々なことを学び活動してきました。この活動を通して蓄積したデータや関わりあつた方たちとの『絆』をもとに、2012年度石見神楽人育成委員会ではその人脈やノウハウを最大限活用して石見神楽を担う子ども達のやる気を引き出します。石見神楽を愛し、愛郷心溢れる石見神楽人を増やすべく、神楽に無関心な層に対し興味を喚起していきます。

具体的な手段として以下のような事業を行っていきたいと思っております。

●4月例会について

4月例会では現在まで行ってきた調査研究などから石見神楽と広島神楽との違いを学び、広島東山神楽団の方に神楽イベントを成功させ子ども達が神楽に憧れるシステム作り成功した事例や、その中で発生した問題点等をご講演頂き、神楽の持つ魅力、イベントによる活性化の必要性を発信します。この4月例会を通して子ども達が石見神楽に憧れるシステム作りや盛り上げるために子ども神楽共演大会を行うことの必要



性を訴えます。

4月例会は行政・神楽社中関係者だけでなく一般の方にも参加可能な公開例会となっております。石見神楽に興味のある方は、是非ともご参加頂ければと思っております。

●出前授業について

6月には、神楽に興味のある子と興味のない子という二極化する意識のギャップを埋めるべく、地元小学生に向けて過去に調査研究してきた石見神楽の歴史や石見神楽の物語を題材に石見神楽への興味を喚起する為の出前授業を行います。子どもが減少している今、この興味の無い子どもに対してどうやったら興味を持ってもらえるか、本年度はこの興味の無い子ども達に対しどうアプローチしていくかという点に特に調査・研究を重ね、注力します。この事業を通して神楽というものがとても身近な存在であるということを認識してもらい興味を持ってもらいます。

●子ども神楽共演大会について

現在、神楽社中に所属していても発表の場が少なく、さらに神楽に興味の無い子どもが、同世代の子どもが舞う姿を目にする機会が少ない状況を変えるべく当委員会では、江の川祭とコラボレーションし、子ども神楽の共演大会を開催します。複数の神楽社中を見比べると共に同世代の友達が舞う姿を見る事で子ども達の興味を引き出し、さらに神楽と触れ合う機会を増やし神楽に無関心な層の引き込みを行います。また、神楽社中に所属している子どもたちには友達や家族、市民の皆様が継続的に見てもらえる場を提供する事で魅せる喜びを感じてもらいます。

我々石見神楽人育成委員会は2012年度江津青年会議所宮津秀行理事長の思い「石見神楽を通じたヒトづくりと新たな試みへの挑戦」を形にするべく一年間活動します。どうぞよろしくお願いたします。



会員大会 運営会議



議長
堀江 毅

本年度この江津の地において、2002年以来、実に10年ぶりに(社)江津青年会議所が主管として第38回島根ブロック会員大会が開催されます。ブロック会員大会とは、島根県内の青年会議所全会員が一同に集い、青年会議所運動のありみや方向性を確かめ合い、将来に向け、運動意識を高める場でもあります。大会当日には、日本のエネルギー問題をテーマとした記念講演会の開催を予定しております。市民の皆様と共に、これからの日本のエネルギー政策を選択するにあたり必要となる、知識と見識を養いたいと思っております。

この大会を通して、青年会議所運動の成果に対する、多くの市民の皆様のご理解をいただければと思っております。